*SL5800 *

TOSTEM

施工説明動画　現調説明動画

リプラス 引違い窓 現場調査キット（2020年） 使用説明書

SL5800	01	2020.9.1 発行

■現場調査工程概要

1 事前確認
↓
2 現場状態の確認
↓
3 現場調査キットによる取付可否確認
↓
4 現場調査キットによるオプション部材要否確認
↓
5 既設サッシ枠の採寸

■現場調査キット内容明細表

番号	目的	略図	既設サッシ枠(内付･半外付) 単体枠	既設サッシ枠(内付･半外付) 雨戸付枠	既設サッシ枠(内付･半外付) シャッター付枠	既設サッシ枠(内付･半外付) 面格子付枠	既設サッシ枠(外付) 単体枠	既設サッシ枠(外付) 雨戸付枠	既設サッシ枠(外付) シャッター付枠
青①	上枠取付ベース材・下枠レベル調整付土台取付可否 補助アングル要否	青色	○	○	○	○	–	–	–
青②	下枠内レール アタッチ(大) 取付可否	青色	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1	–	–	–
青③	縦枠取付ベース材 取付可否	青色	○	○	○	○	–	–	–
青④	雨戸用枠・シャッター用枠 取付可否	青色	–	○	○	○ ※2	–	○	○
青⑤	アングルカバー・見切材取付可否 下枠補強材要否	※3 青色	○	○	○	○	○	○	○
白⑥	上枠取付ベース材・下枠レベル調整付土台取付可否	白色	–	–	–	–	○	○	○
白⑦	下枠内レール アタッチ(大) 取付可否	白色	–	–	–	–	○ ※1	○ ※1	○ ※1
白⑧	縦枠取付ベース材 取付可否	白色	–	–	–	–	○	○	○

※1 下枠内レールが下枠上端より低い場合に使用
※2 面格子付枠が縦固定タイプの場合に使用
※3 施工時の気密テープ張付け範囲のけがきに使用できます。

■取付可否の確認

1事前確認

❶躯体構造の確認

3階以下の住宅用サッシが対象

❷設置場所の確認

浴室は一部ご使用いただけません。（詳細は別紙を確認してください。）

2現場状態の確認

❶既設サッシ種類の確認

防火窓	全て	×
引違い窓	単体サッシ	○
	連窓･段窓	×
	ランマ付	○※1
	二重サッシ	○※2
	面格子付サッシ	○※3
	雨戸付サッシ	○
	シャッター付サッシ（電動シャッター付サッシを除く）	○
装飾窓	全て	×

※1 無目･吊束の切断が出来るか確認してください。
※2 二重サッシは内窓が外れることを確認してください。
※3 面格子が取り外せるか確認してください。

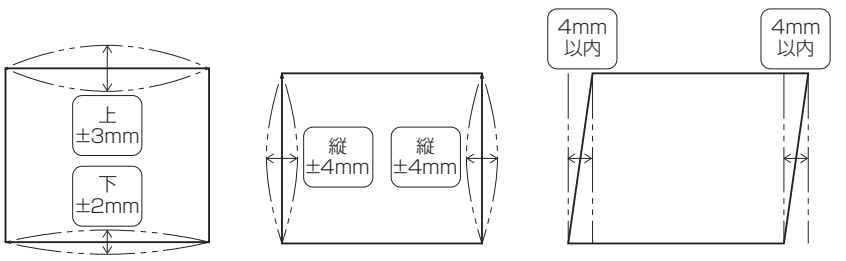
❷既設サッシ納まりの確認

内付	○
半外付	○
外付	○

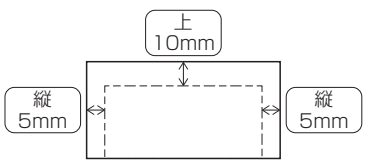
❹既設サッシ枠の状態確認

■リプラスは既設サッシ枠を利用して取付けます。既設サッシ枠にグラツキやガタツキが無いことを確認してください。
・枠の変形などにより障子脱落のおそれがあります。
・障子開閉時に異音が発生する原因となります。既設サッシ枠に起因する障子開閉時の異音は、リプラスを設置しても解消されないことがあることをお施主さまにご説明ください。

■たわみ、ゆがみ、たおれがそれぞれ下図の範囲内であることを確認してください。

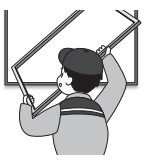


〈参考〉
上･縦取付ベース材と新設枠の標準チリは下図になります。



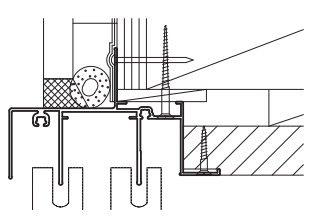
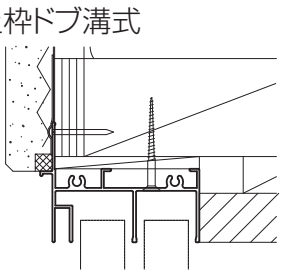
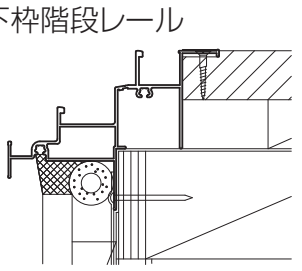
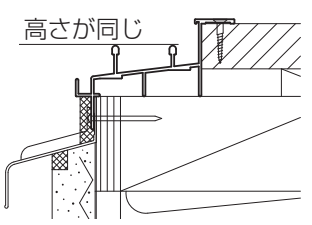
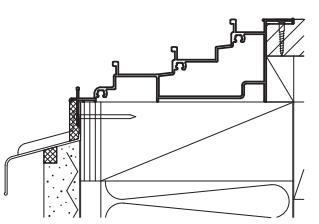
❺作業スペースの確認（室内側施工の場合）

組立てした新設サッシ枠を外に振り出す作業が発生します。そのため、新設サッシ枠のH寸法、W寸法の長い方の長さだけスペースが必要です。現場の既設サッシ枠外々を測り、室内外のスペースを確認してください。



※HWの寸法差が50mm以内の場合は、室内側から振り出せないため、室外側からの新設サッシ枠取付になります。

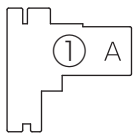
❸既設サッシレールの確認

	上枠レール式	上枠ドブ溝式	下枠階段レール	下枠フラットレール	下枠3本レール
レール形状					
対応可否	○	○	○	○	×

3 現場調査キットによる取付可否確認

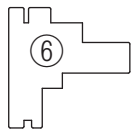
●使用するプレート

内付
半外付



青色

外付

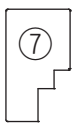


白色

内付
半外付

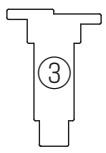
青色

外付



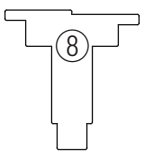
白色

内付
半外付



青色

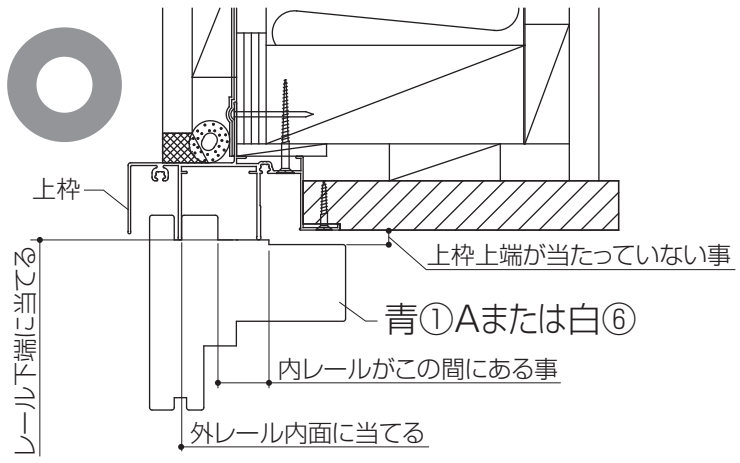
外付



白色

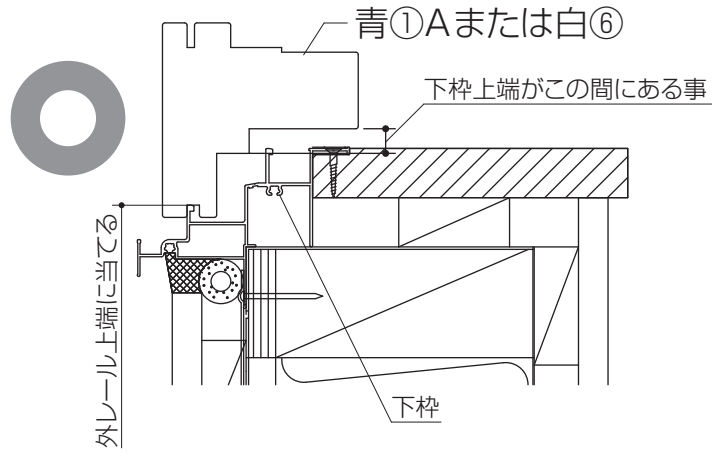
❶上枠の取付可否

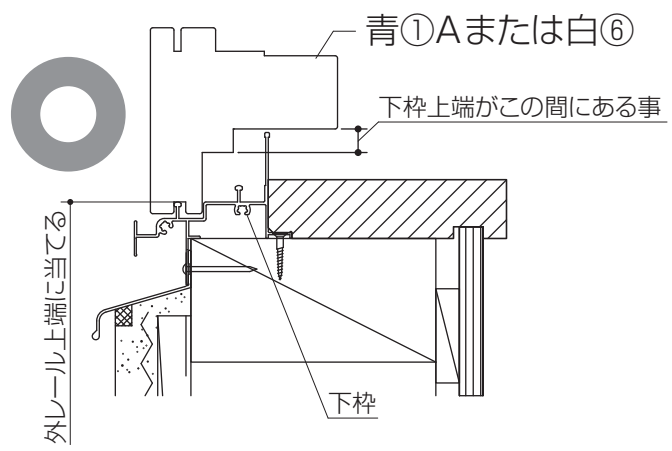
図のようにプレートを当て、内レールが範囲内であれば取付可です。
（レール芯々寸法が20～35mmであれば取付可です。）



❷下枠の取付可否①

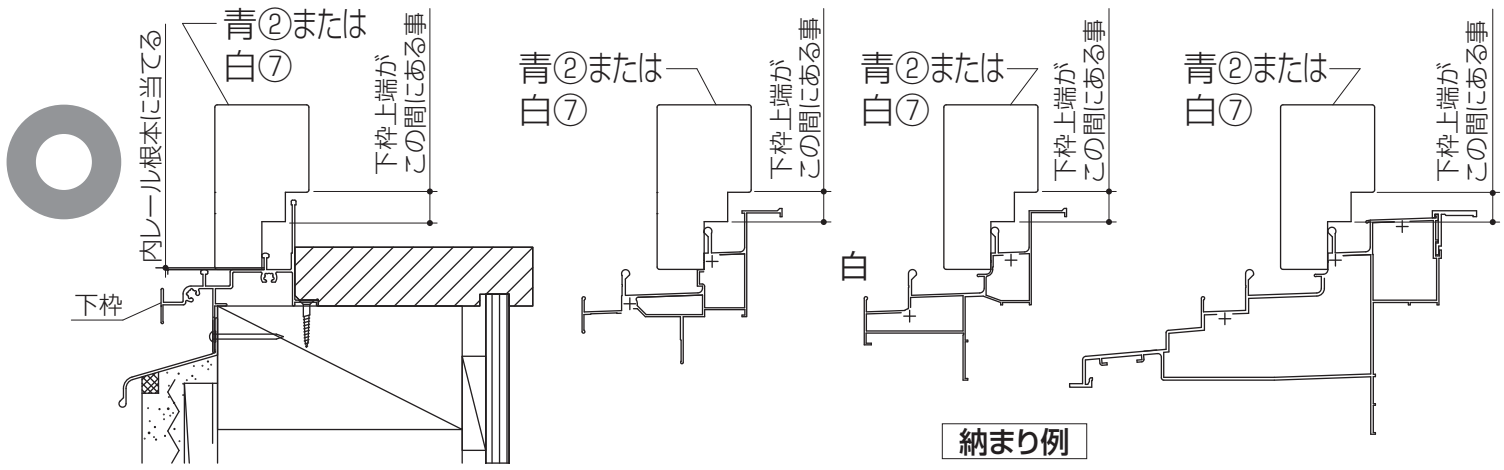
図のようにプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
（外レール上端から下枠上端が21～31mmであれば取付可です。）





❷下枠の取付可否②（下枠内レールが下枠上端より低い場合）

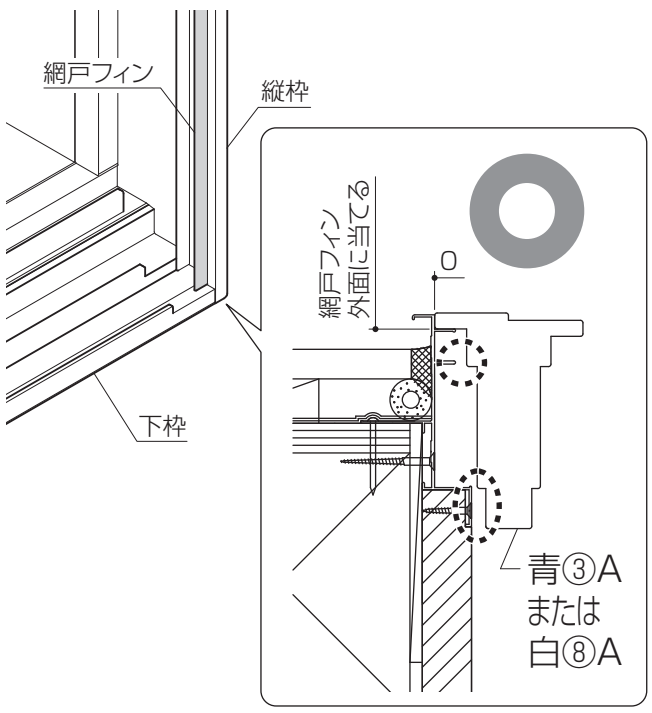
図のようにプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
※内レール上端が下枠上端と同面の場合は確認不要です。

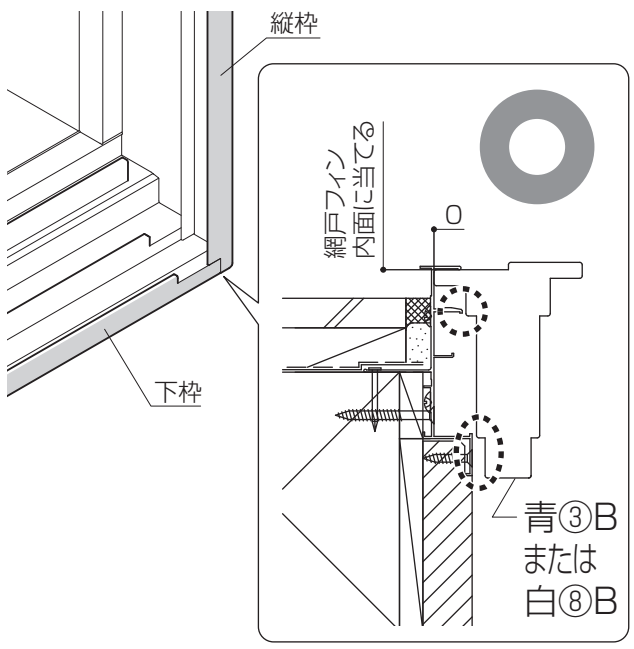


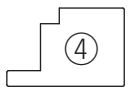
❸縦枠の取付可否①

図のようにプレートを当て、縦枠・窓枠に干渉しなければ取付可です。

（縦枠網戸フィンが上下枠網戸レールと同面の場合）







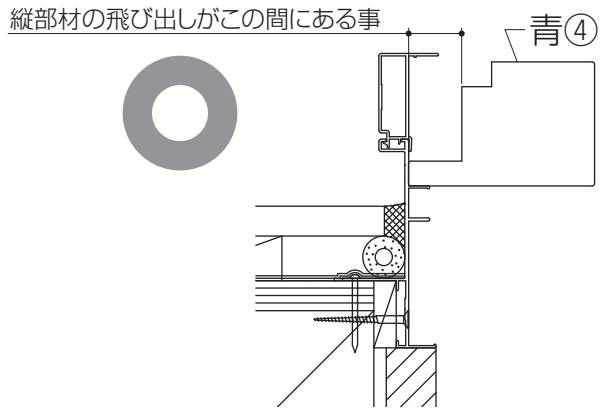
青色

❸縦枠の取付可否②（雨戸・シャッター・面格子付の場合）

図のように④のプレートを当て、縦部材の飛び出しが範囲内であれば取付可です。
※単体、面格子付（上下固定タイプ）は確認不要です。

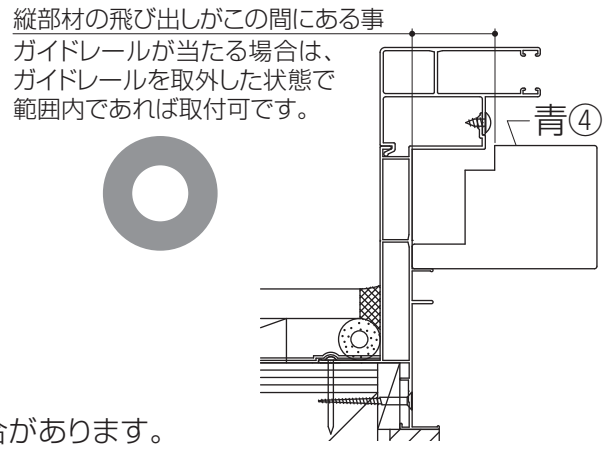
■雨戸付枠、面格子付枠（縦固定タイプ）の場合

（戸当り面からの縦部材の飛び出しが22mm以下であれば取付可です。）

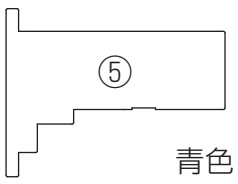


■シャッター付枠、外付枠（雨戸・シャッター含む）の場合

（戸当り面からの縦部材の飛び出しが34mm以下であれば取付可です。）



※範囲外の場合は、新設サッシW寸法を小さくして対応できる場合があります。
詳細はカタログの採寸ページを参照してください。

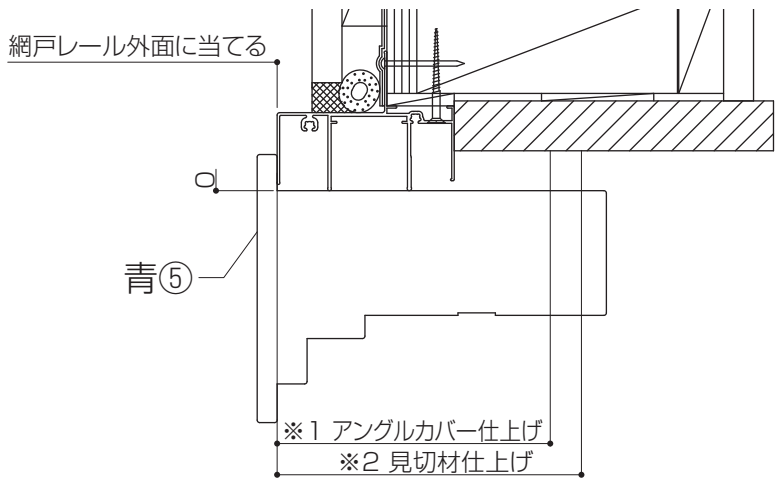


青色

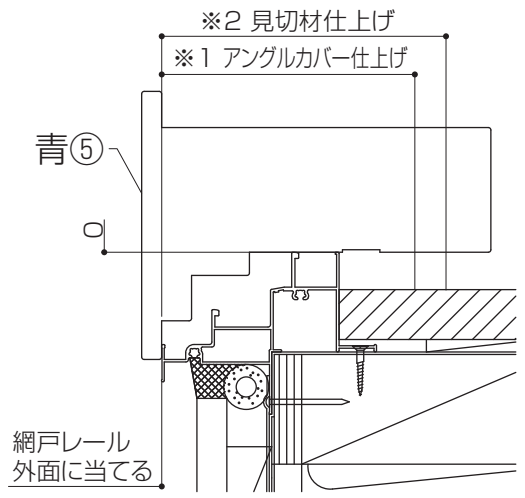
❹アングルカバー、見切材の取付可否

＜見込み＞ 図のように⑤のプレートを当て、既設サッシ枠にアングルカバー取付け面があるか（※1）、見切材取付け面があるか（※2）、確認してください。

■上枠

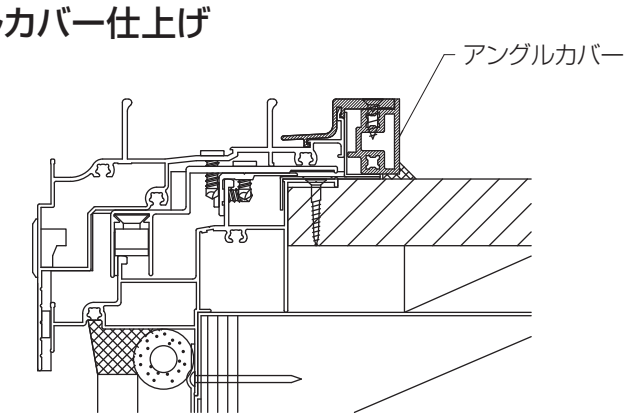


■下枠

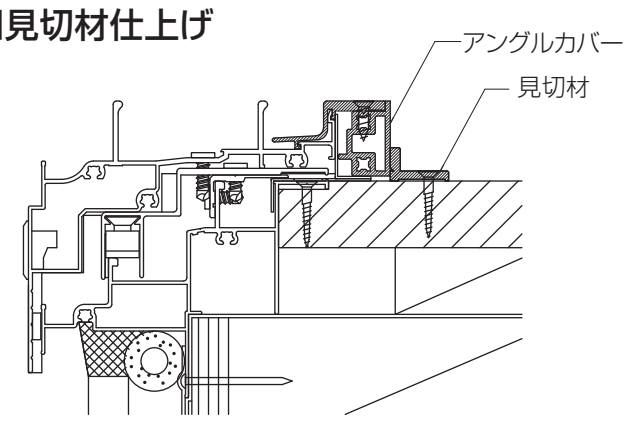


＜参考納まり＞

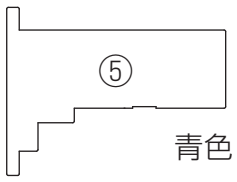
■アングルカバー仕上げ



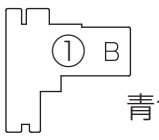
■見切材仕上げ



❹現場調査キットによるオプション部材要否確認（外付枠の場合は不要です。❺既設サッシ枠の採寸へ進んでください。）



青色



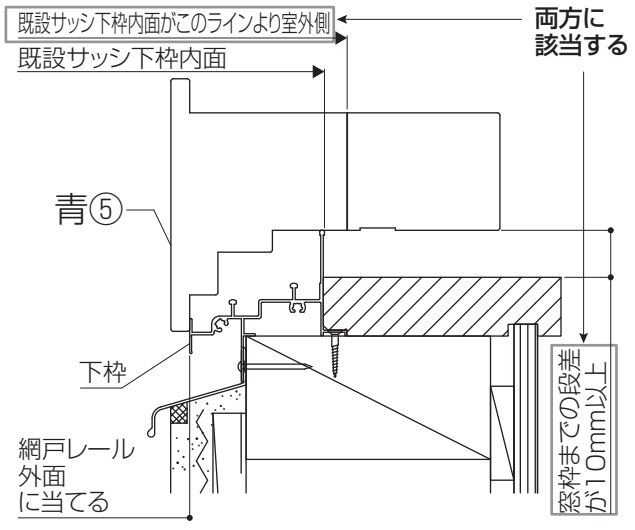
青色

下枠補強材・補助アングルの要否

図のように①B、⑤のプレートを当て、手配が必要かを確認してください。

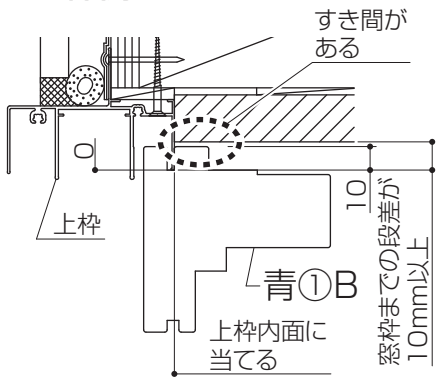
［手配が必要な場合］

＜下枠補強材＞

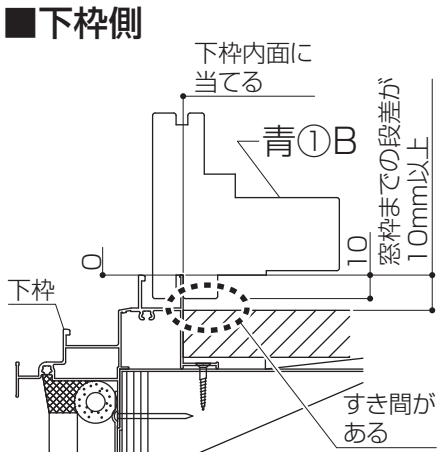


＜補助アングル＞

■上枠側



■下枠側

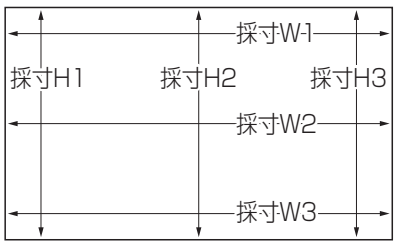


※下枠補強材を手配する場合、下枠側が該当しても手配不要です。

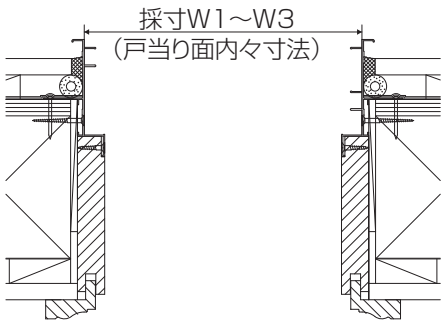
5 既設サッシ枠の採寸

既設サッシの内々寸法（3ヵ所）採寸W1～W 3、採寸H1～H3を採寸の上、最小値を採寸W、採寸Hとしてください。

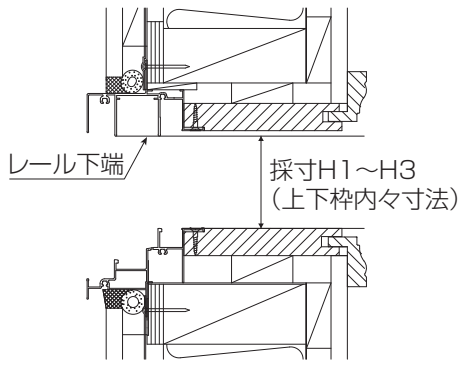
■測定個所（開口正面イメージ）



■採寸Wの測定個所（横断面図）



■採寸Hの測定個所（縦断面図）



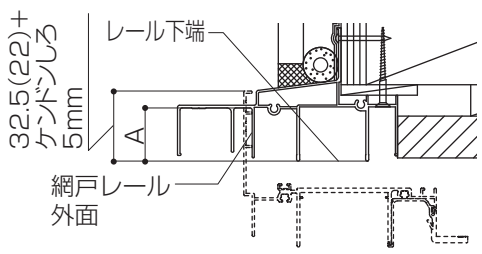
■施工時間の短縮ポイント

■新設枠の切断

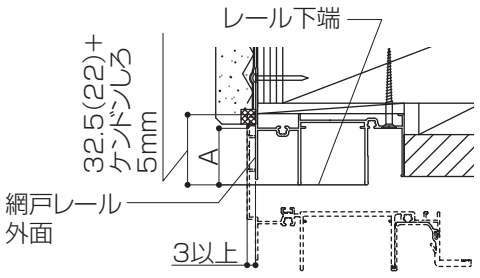
既設サッシ枠が雨戸付・シャッター付・面格子付の場合、
新設枠の切断（上下または四方）が必要になります。（納まりにより単体枠も該当します。）
既設サッシ枠の下図の個所を採寸しておくことにより、事前に切断することが可能になります。

［切断が必要な場合］　（　）は新設サッシ枠が外付枠用の場合

上枠： 切断寸法 a=37.5(27)−Amm

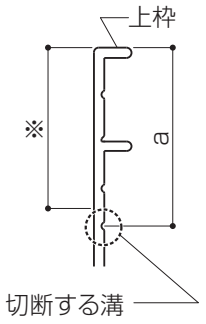


i）レール下端から網戸レール根本までの
寸法Aが37.5(27)未満の場合



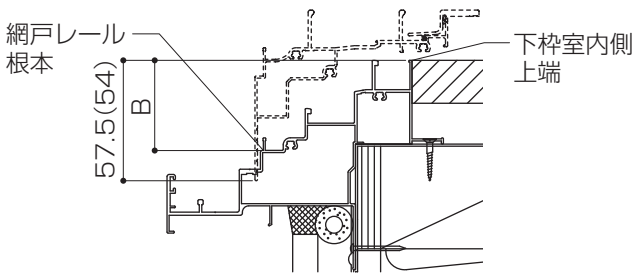
ii）上枠網戸レール外面から
3mm以上のリブや外壁がある場合

（例）

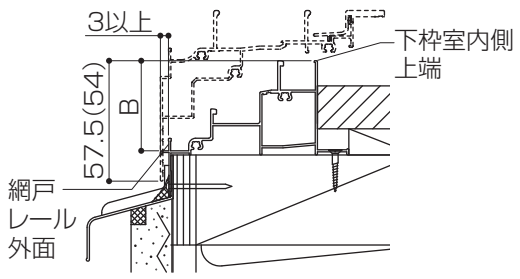


※37.5(27)−Aの
値が、溝の間のとき
は下の溝で切断し
てください。

下枠： 切断寸法 b=57.5(54)−Bmm

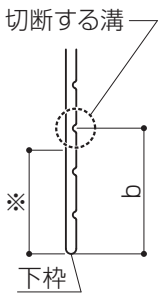


i）下枠室内側上端から網戸レール根本までの
寸法Bが57.5(54)未満の場合



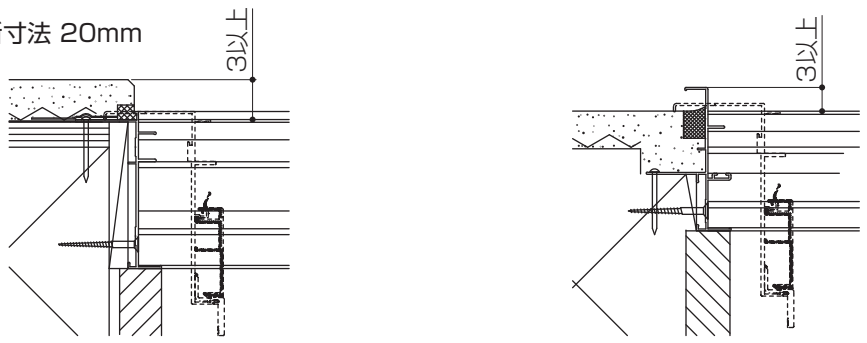
ii）下枠網戸レール外面から
3mm以上のリブや外壁がある場合

（例）



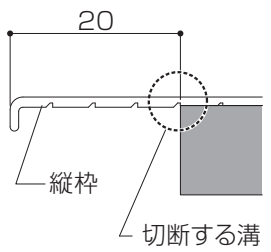
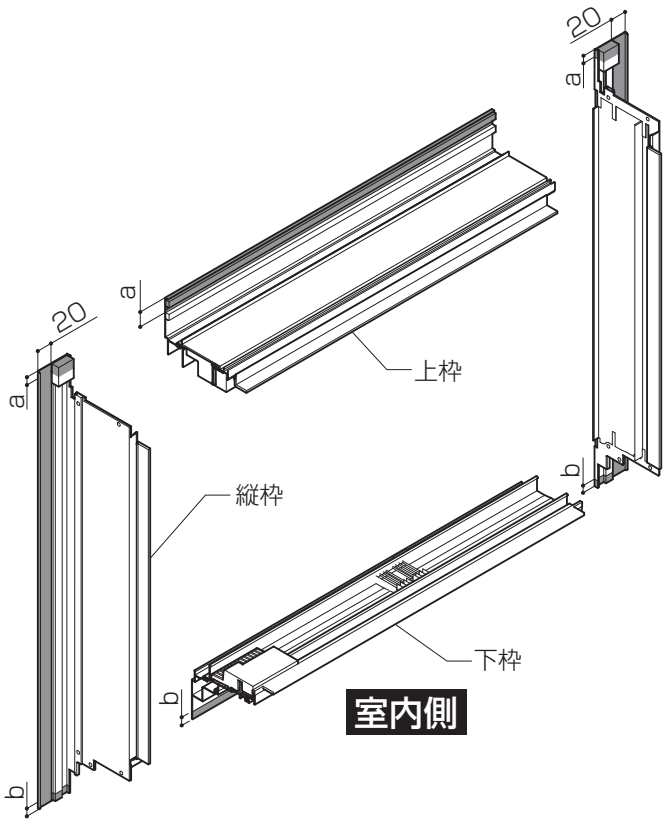
※57.5(54)−Bの
値が、溝の間のとき
は上の溝で切断し
てください。

縦枠： 切断寸法 20mm



i）上下枠網戸レール外面から3mm以上のリブや外壁がある場合

（例）



※新設枠が雨戸枠用･シャッター枠用･外付枠用の場合は、縦枠の切断は不要です。